

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努めます。
ジャンルの目標	
地域の自然や伝承される生活文化・歴史を次代に伝えるような事業を展開し、地域に関する理解と愛着を深めるとともに、地域住民の交流と健康増進を図る。また、他地区の住民に対して弥富地区を紹介していく。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	ふるさと弥富散策会	自然散策やどんど焼き体験を通して、地区に対する理解と愛着を深める。
②	グラウンドゴルフ	児童から高齢者まで幅広い層が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。
③	竹炭づくり体験	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより、地域への理解を深めると共に生き甲斐探しの第一歩とした。
④	つまずかないためのストレッチ	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る
⑤	佐倉学体験講座「くらしの講座」	弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。
⑥	佐倉・城下町400年記念事業「南部地区の旧街道を歩く」	佐倉南部地区の旧街道を散策し、史跡を訪れることで地域に関する理解と愛着を深める。
⑦	佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料作りから編み上げまでの技法を学ぶ。
⑧		
⑨		
⑩		

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	A A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	地域の自然や歴史、昔からの風習、郷土料理などを次代に伝承する事業を今後も展開していく。また、高齢化率が市内で一番高いことから、地域住民の健康増進や介護予防等について学習する機会を提供していく。
改善	次年度への課題と展望策	B A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価	
A 事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	成果 ジャンルの目標に沿った事業展開をすることができた。事業実施によりサークルができるなど、自主学習の機会が増加した。
	課題 地域の特性を活かした魅力ある事業を展開し、幅広い世代の参加が得られるよう内容を工夫していく必要がある。

★公民館運営審議委員意見

委員	募集対象で地区限定が3事業あり、他の公民館と異なる点があるが地域密着を重視した表れかと思われる グラウンドゴルフ(参加68人)は、年齢層毎の参加人数を表記して欲しい 竹炭づくりと塩古ざるづくりは市内の成人を対象にしているが参加者が募集人員に対し35~45%は今後の課題である 地域の高齢化が一番進んでいるし、地理的なハンディも大きな要因と考えられるが伝統文化を守るため継続を希望する
総合評価	A

総合評価	委員 A	地域散策、健康づくり運動、地域産品づくり、地域食文化体験、地域情報発信など、「地域」の多様な取り組みが行われています。講座参加対象者も、地域住民向け、地域の現状から他地区参加者を求めるものまで多様です。人口激減、超高齢地域であることが、和田地区同様、地域としてのまとまり、活動の確実性を高めているのかも知れません。この地区のグラウンド・ゴルフ大会は、地域住民が参加、しかも幅広い世代が交流しています。つまずかないためのストレッチ教室では、この講座がきっかけとなり、参加者によるサークルが立ち上がっています。講座が団体育成に繋がっていく好例がここにありますが、オールAとして評価してもよいと思います。自信に裏打ちされた事業は、力強く進められるものと思います。 太巻き寿司、米粉ケーキ、そば打ち体験、布ぞうり作りなど、物づくりの楽しさも数多く講座に組み込まれています。座学に偏らない、行動する公民館、という印象を強く感じます。今後とも、地域の特色を生かした事業を組み上げ、地域全体の行動力が向上していくことを期待しています。
------	---------	---

総合評価	委員 A	7事業のうち竹炭づくり、塩古ざるづくりは、地域に根ざした事業で評価シートⅡの内容のとおり、各項目をクリアしていると思います。公民館事業は、企画、予算、人材、期間等運営するには、限りがあります。終了後に参加者でのサークルの発足に至ったとのこと。自ら学び、自らの足で歩みだすきっかけづくりも公民館(事業)の1つの役目ではないでしょうか。発足したサークルの支援者となって、地域の団体育成を行っていただきたいと思います。
------	---------	--

総合評価	委員 A	地域の方々のコミュニティーの場としてさまざまな事業があり、よいと思う。他地域からの参加が増加することを期待する。
------	---------	--

総合評価	委員 A	地域住民との交流を重きに置いた事業が多く、十分にその役割を果たしていると思います。さらなる成果を期待したい。
------	---------	--

総合評価	委員 A	豊かな自然と伝統文化に育まれた地域の特性を生かすとともに、健康づくり、まちづくりなどの問題について多様な事業を編成している。高齢化率が市内一の弥富地区では、とりわけ実効ある施策が緊要で、その点、つまずかないためのストレッチ事業はタイムリーな企画である。これからも欠かせない視点だ。塩古ざる、竹炭、布ぞうりづくり、どんと焼きなどの生活文化の伝承には、斬新な発想・手法をもって臨んでほしい。
------	---------	---

総合評価	委員 B	成人教育、7事業のうち5事業が佐倉の文化、歴史、2事業が健康に関する事業です。少し偏りがあるように思います。食育、料理、環境、防犯、社会、情報講座などから新事業を追加すれば、成人教育の目標も広がり充実するのではと思いますが、自己評価では、全ての事業がA評価ですが、もう少し謙虚に、厳しい評価をしてはと思います。参加者人数が評価の全てとは言いませんが、やはり評価の大きい要因です。提案ですが、市民カレッジ、しず市民大学や寿大学のような年間を通し開催する成人教育の柱になる事業を考えてはいかがでしょうか？
------	---------	--

委員		<p>地域の理解や郷土愛の醸成、シニア層の健康増進など、大体同じような目標を掲げた七事業であるが、各講座自体にはあまり違いが見られないため、もう工夫あってもよいのではないだろうか。</p> <p>毎年同じタイトルの事業でも、少しずつ新しい付加価値を加えていくとか、切り口を変えてみるとか、リピータの受講者も期待できる工夫があるとよい。</p> <p>又、講座によっては参加者が少ないものがあるが、その理由等の分析や、地元民と一緒に講座を作っていく手法等も、弥富という地域性からみて有効な手法ではないでしょうか。</p>
総合評価	B	

委員		<p>弥富地区の特徴を生かした講座が設定されており、受講者は興味ある講座を選択することが出来たと思う。</p>
総合評価	A	

委員		<p>地域の特性と風習を生かした次世代に伝承と地域住民の健康増進事業を展開し他地域からも弥富地区の理解を得ている。</p> <p>今後も他地域に弥富を紹介できる事業を期待します。</p>
総合評価	A	

委員		<p>地域の自然や特性を生かした事業をバランスよく計画されている。地域住民が総出で事業に参加している様子も見られ、ねらいが達成されているように思う。</p>
総合評価	A	

委員		<p>地域の特色のある事業内容、自然いっぱいの弥富だから出来る魅力的な企画が多いと思った。</p>
総合評価	A	

委員		<p>地域の特性を生かした公民館事業が設定されている。内容的にもバランスがほぼとれていると思われる。今後に向けてということで、参加数の拡大を図ることが望まれる。各種団体と連携したときには一定の参加者が見込めるので、検討していくこともよいと考える。また、魅力的な事業を考えていくことも大切である。</p>
総合評価	B	

委員	
総合評価	A

委員	
総合評価	A